

平成27年度  
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

## 目 次

活動方針	1
事業体系	3
事業の状況	7
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	7
公2 生活創造活動への支援	14
公3 芸術文化の振興	17
公共 丹波地域情報の発信等	18
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	19
他1 芸術文化団体等活動支援事業	19
III 法人会計	19
施設の利用状況	21
(1) 丹波の森公苑	21
(2) 丹波年輪の里	22
(3) ささやまの森公園	22
事業の受託状況	23

## 平成27年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

当協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立（平成2年に法人化、平成24年に公益財団法人へ移行）され、兵庫県、篠山市、丹波市や市民と連携しながら、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などに取り組んできたところであり、社会的に公益性の高い責任ある法人として、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を更に進めるための事業を展開していく。

平成27年度の主な取組として、丹波の森づくりの拠点施設である「県立丹波の森公苑」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」の4つの施設の連携を更に深め、また、「丹波の森研究所」の充実強化を図りながら、丹波の豊かな地域資源を活かした地域づくり、恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり、地域情報の発信、環境学習の推進、木育の推進、芸術文化の振興、生活創造活動のコーディネートなど多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援、推進する。

具体的には、「人と自然と文化の調和した森(地域)づくり」を目指して、次の3つのテーマを公益目的事業として設定し、事業や取り組みを推進する。

### 1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1)魅力ある地域づくりの推進
- (2)生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
- (3)生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

### 2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

### 3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

### 【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、「生活創造活動」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」の推進拠点として、引き続き丹波らしさを生かした地域づくりを推進する。

・「県立丹波年輪の里」では、木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、森林や環境を考える心を育てる木育を推進していく。

・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

・「県立丹波並木道中央公園」では、豊かな森づくりと都市との交流の場として地域づくりに貢献する丹波らしい公園づくり「森づくりから森づかい」を基本に、森の魅力を地域の人々が主体となる企画運営を重視した公園づくりを推進する。

・「丹波の森研究所」では、地域に密着したシンクタンクとして調査研究や取組提案を行い、市民主体の活動を支援するとともに魅力ある丹波の森づくりを先導していく。

## 平成27年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

### I 公益目的事業会計

#### 公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

##### (1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業
- イ ウィーンの森親善訪問事業
- ウ 美しい村づくり活動支援事業
- エ 人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）
- オ 丹波の森研究所の充実
- カ 地域づくり支援事業
  - ・ 地域づくり支援事業
  - ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
  - ・ 丹波氷上回廊ホームページの運営
  - ・ 丹波の森名木ガイド等作成
  - ・ 川代溪谷の桜てんぐす病対策ワークショップ業務
  - ・ 「地域ラボ」整備可能性調査検討業務
- キ 花づくり活動支援事業
- ク 丹波の森フェスティバルの開催
- ケ 丹波年輪の里事業
- コ 丹波並木道中央公園の企画運営

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波並木道中央公園】

##### (2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進

- ア 里山ボランティア（森づくりスタッフ）養成事業
- イ 里山創造活動支援事業
- ウ 森づくりアドバイザーの設置
- エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり
- オ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

##### (3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

- ア 丹波の森公苑環境学習推進事業

##### (4) 公1 共通経費

- ア 施設運営・管理

【全施設】

## 公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

### (1) 地域・団体活動の支援

ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業

イ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

### (2) 生涯学習の場の提供

ア 放送大学センター外視聴教室の運営

イ 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設

ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学院）の開設

エ 講座「丹波学」の開設

オ 森のコミュニティ応援隊派遣事業

カ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

### (3) 暮らしの安全安心の推進

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

### (4) 明日を担う丹波っ子の育成

ア トライやる・ウィーク、インターンシップ受入

【全施設】

イ 丹波の森美術学校の開設

ウ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催

エ 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯の開催

オ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

### (5) 公2 共通経費

ア 施設運営・管理

## 公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

### (1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催

イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

### (2) 芸術文化活動の振興

ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催

【県立丹波年輪の里】

イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催

【県立丹波年輪の里】

ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催

エ 展示ギャラリーの開設

オ 伝統文化活性化支援事業

カ 座っ展 2015-丹波でうまれた木の椅子-

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

ア 情報誌「丹波の森」の発行等

【全施設】

イ 運営委員会の開催

【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

ア 利用者への利便提供等事業

【県立丹波の森公園、県立丹波年輪の里】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

III 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公園で実施している。





平成 27 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり（森・守・盛）びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第 25 期 テーマ「兵庫の展開ナウ」 受講生：46 人 受講料：10,000 円 実施日：6 月 23 日(火) ～12 月 8 日(火) 全 10 回のさまざまな講義を実施 ○専科生への活動支援 ・専科生によるビザ窯の使い方講習会 実施日：10 月 6 日(火)	1,192,000	1,178,664	
	イ ウィーンの森親善訪問事業	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○丹波地方の景観写真文化交流事業 昨年、ウィーン市 13 区に送った丹波地方の景観写真約 40 点をウィーン市民大学に展示 展示期間：5 月 20 日(水) ～6 月 30 日(火) ○オオムラサキ飼育支援事業 国蝶オオムラサキをウィーン・シェーンブルン動物園で飼育してもらうための事業実施の諸準備。 平成 28 年 2 月にオオムラサキの幼虫をシェーンブルン動物園に送り、飼育環境について意見交換を実施	407,000	390,810	
	ウ 美しい村づくり活動支援事業	人と自然と文化・産業が調和した魅力ある地域づくり（丹波の森構想）を進めるために、住民・事業者・行政が一体となった丹波の美しさを守り活かす活動を支援する。	○地球育ミュージアムコネクト三丹（三丹地区の環境学習拠点の連携） ・研究会：第 1 回 5 月 19 日(火) 第 2 回 7 月 7 日(火) 第 3 回 2 月 16 日(火) ・フォーラム 開催日：10 月 25 日(日) 場 所：京都府立丹後海と星の見える丘公園 テーマ：「丹後×丹波×但馬の自然系ミュージアム連携による環づくり」 参加者：30 人	426,000	422,231	
	エ 人材活用推進事業（丹波の森市民研究員制度）	地域の現状を把握し、より地域の課題に対応した実践的な活動を支援するため、地域の優れた人材や実践組織を「市民研究員」として登録し、地域への派遣を通じてそれぞれの人材の有する知識や技術等の経験を地域に還元する。	○市民研究員の派遣 派遣 4 件 ○「語りバクラブ」による「丹波のむかしばなし」の紙芝居上演と、ビザ窯を使った子育て事業に市民研究員を派遣した。 ・10 月 4 日(日) 丹波なみきみちまつり 2015 収穫祭(丹波並木道中央公園に市民研究員を派遣) 参加者 60 人 ・10 月 18 日(日) 丹波の森フェスティバル(丹波の森公苑に市民研究員を派遣) 参加者 300 人 ・3 月 13 日(金) にんじんさんの森の中のビザパーティーの指導に市民研究員を派遣 参加者 28 人	21,000	20,324	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	オ 丹波の森研究所の充実	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○研究交流会を通じた情報交換、方向検討、テーマ発掘など 丹波の森研究所研究交流会 開催日：(第1回) 4月24日(金) (第2回) 6月23日(火) (第3回) 8月25日(火) (第4回) 10月20日(火) (第5回) 12月24日(火) (第6回) 2月23日(火) (第7回) 3月29日(火) ○恐竜化石等を活かしたまちづくりの支援 ○研究所活動の広報・PR(情報誌「丹波の森」)	10,534,000	10,152,969	
	カ 地域づくり支援事業 ・地域づくり支援事業	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	○丹波のまちづくりについての調査研究 (ア)フィールドミュージアムにおけるコア施設の研究 (コア施設の運営について、類似の施設における運営状況の把握) (イ)丹波地域における6次産業化の基礎調査 (地域の活性化の重要な手法となっている6次産業化についての基礎的研究) ○アドバイザー派遣等重点地区の支援 丹波市：神楽地区(3回) 篠山市：東岡屋地区(5回) 篠山地区(3回) ○まちづくりに関する四者(県民局・篠山市・丹波市及び森協会)連絡調整会議開催 開催日：(第1回)7月15日(水) (第2回)11月13日(金) ○企業と住民の協働による企業の森・里づくり事業 森づくり協議会(篠山市2地区、丹波市3地区)のコーディネート及び森づくり活動支援 ・サポート対象の森づくり協議会 (1)油井鎮守の森を守る会 (地元：篠山市油井地区、企業・団体：三菱電機神戸製作所) (2)篠山宮代の里森林保全協議会 (地元：篠山市宮代地区、企業・団体：(株)阪急阪神交通社ホビーイング) (3)遠阪アサヒの森づくり協議会 (地元：丹波市青垣町遠阪地区、企業・団体：アサヒ(株)西宮工場) (4)神船・大名草の森づくり協議会 (地元：丹波市青垣町大名草地区、企業・団体：三菱重工業(株)) (5)甲賀の里森づくり協議会 (地元：丹波市水上町成松連合区、企業・団体：東洋電機(株)) ・サポート及びコーディネート業務 4月：遠阪地区、大名草地区 5月：遠阪地区、成松地区、大名草地区 6月：油井地区 9月：宮代地区、大名草地区 10月：宮代地区、大名草地区 2月：成松地区 3月：成松地区	2,227,000	2,195,945	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<p>○丹波地域まちづくり交流会の企画・開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：12月2日(水)</li> <li>・場所：丹波の森公苑 多目的ルーム</li> <li>・内容：活動発表(地域交流・活性化の取組、移住者の視点・活動を活かした取組)及び情報交換</li> </ul> <p>○丹波篠山ひなまつり事業の事務局とコーディネート業務</p> <p>開催期間：3月19日(土)～27日(日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・篠山市内8地区で「丹波篠山ひなまつり」を開催</li> <li>・「丹波篠山ひなまつり実行委員会」が8回開催される中で、丹波の森研究員がコーディネートを務めるとともに、企画提案、事業アドバイスをを行った。</li> </ul> <p>○森づくり展開催事業</p> <p>丹波地域において、「森づくり活動」「里山再生」などに取り組んでいる団体の活動状況を広くPRするため、森づくり展を開催。</p> <p>開催期間：7月31日(金)～8月13日(木)</p> <p>場 所：丹波の森公苑1階 展示ギャラリー他 展示品数：20枚</p>			
	たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、その価値や意義、丹波の魅力を広く全国に発信するとともに、当協会が主導してまちづくり協議会(構成団体:県・両市、両市の商工会・観光協会等59団体)を組織し、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	<p>○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想の推進プロジェクト</p> <p>(1) 川代溪谷ライパーク(仮称)ツアーの検討、開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恐竜街道(県道77号線)とJR福知山線(篠山口～谷川)をベースに、川代溪谷ライパーク内の回遊性を高めるとともに、川代らしい景観及び空間整備について検討し、それらを活用したツアーを企画、実施</li> </ul> <p>(2) 川代溪谷・篠山層群プレゼン映像等作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来訪者への情報提供及び提供する情報への興味関心を喚起するための川代溪谷、篠山層群等に関するプレゼン映像、またモバイル端末で活用できるARコンテンツを作成</li> </ul> <p>(3) 恐竜化石体験学習プログラム開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恐竜化石発見地を含む篠山層群エリアは「農村風景と恐竜等化石が共存する」非常に希少な地域資源であることを伝える教育普及を目的とした体験学習プログラムの開発、実施</li> </ul> <p>(4) 篠山層群地域資源調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・篠山層群の特異性を示す人々の生活を多様な視点で調査</li> <li>・篠山層群に関する既存情報の整理及び露頭箇所の実況調査を行い、ガイドの資料や展示資料への活用を目指す。</li> <li>・篠山層群の特異性である恐竜化石、豊かな自然、地域の暮らし、それらを包括したフィールドミュージアム構想の発信</li> </ul> <p>(5) インタープリター養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドミュージアムを実施する場合、全体構成の企画や演出、参加者との一体感の創出、自然物だけでなく、地域の文化や歴史などを含めた対象の背後に潜む意味や関係性を読み解き、伝える活動を行う人材の育成</li> </ul>	1,518,000 (たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会受託)	1,281,294	
				18,360,000 (丹波県民局受託)	15,388,747	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：11月24日(火) 3月10日(木)</li> <li>(6)丹波並木道中央公園篠山層群露頭整備、AR解説</li> <li>・丹波並木道中央公園にある篠山層群の露頭掘削工事を行い、掘削したところにARマーカーを設置し、篠山層群についての解説を行う。</li> <li>・フィールドミュージアムプロジェクトチーム会議： 4/22.5/25.5/27.6/3.6/16.6/18.6/25 7/2.7/15.8/21.9/16.9/20.9/29 10/28.11/27.12/25.1/27.2/26</li> </ul>			
	・丹波氷上回廊ホームページの運営	丹波地域の気候風土や歴史文化に大きな影響を与えた「氷上回廊」を広く紹介するとともに、生物多様性保全や地球温暖化防止などの環境意識の啓発を目的として、ホームページ「氷上回廊」のコンテンツの充実を図る。	○丹波氷上回廊ホームページの更新、修正業務 ・既存コンテンツにおける追加情報作成、画像データ・写真の更新、それに伴うプログラミング作業 ・現状の部分のテキストの書き換え等の修正 ・ブログの管理と情報発信	200,000 (丹波市受託)	191,241	
	・丹波森の名木ガイド等作成	丹波の森・名木ガイド改訂冊子及び修正シールの印刷・発行を通じて、丹波地方に数多く生育する名木の存在を住民の皆さんをはじめ、多くの方に知っていただく。そして、そのことによって生態系保全や生物多様性の文化を育てていく。	○「丹波の森・名木ガイド」改訂冊子の発行 約10ページの追加冊子、修正シール2種類及び追加番号シールの印刷などを実施 ・編集委員会の開催 第1回 9月2日(水) 第2回 10月10日(土) 第3回 11月8日(日) 第4回 1月30日(土) 第5回 3月23日(水)	324,000	318,946	
	・川代溪谷の桜てんぐす病対策ワークショップ業務	県道篠山山南線沿道は桜の名所であるが、近年「てんぐす病」が広がり、樹勢の衰えが目立つようになってきた。そのため「てんぐす病」の被害状況を把握するとともに、今後の維持管理について、地域とともにワークショップにおいて検討し、維持管理の方針を導く。	○川代溪谷周における桜の「てんぐす病」対策ワークショップ 開催日：7月27日(月) 場 所：丹波並木道中央公園	402,000 (公財)兵庫県園芸・公園協会受託)	213,179	
	・「地域ラボ」整備可能性調査検討業務	篠山市の地域資源の活用や地域課題の解決につながるソーシャルビジネスを実践できる仕組みを作り、併せて若者のしごと創出と移住定住を促進するための枠組みである「地域ラボ」を設立し、運営を開始するにあたり、起業家の受け入れ体制づくりや関係する地域団体との調整及び実施方法について調査・検討を行う。	○「地域ラボ」の実施に向け、篠山市より受託した調査報告受託業務を実施 ・市内19地区における課題、地域資源、まちづくりの取り組み、動向等についての調査報告書作成	1,231,000 (篠山市受託)	1,128,364	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	キ 花づくり活動支援事業	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	<p>〈花と緑の教室〉</p> <p>内 容：草花等の育成に関する知識習得、寄せ植えを中心とした実習</p> <p>受講者数：44人</p> <p>受講料：11,000円(前期) 12,500円(後期)</p> <p>講 師：県立フラワーセンター職員</p> <p>実施日：5～3月(年10回：1月を除く毎月1回開催)</p> <p>〈園芸教室〉</p> <p>内 容：園芸に関する基礎知識修得</p> <p>受講者数：26人</p> <p>受講料：6,000円</p> <p>講 師：但馬高原植物園植栽主任 田丸和美</p> <p>実施日：5・6・7・10・12・3月(年6回)</p>	1,159,500	1,159,500	
	ク 丹波の森フェスティバルの開催	地域住民をはじめ、各種団体や企業、篠山市・丹波市など丹波地域の各階層が取り組む様々な活動成果の発表や交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	<p>・テーマ：「もりびとになって たんばらしさを楽しもう」</p> <p>・開催日：10月18日(日)</p> <p>・実施内容：交流・活動発表コーナー、ツリーイング体験、クイズラリー、フリーマーケットほか</p> <p>・参加者数：5,000人</p>	650,000	650,000	
	ケ 丹波年輪の里事業	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。	<p>○工作室における木工クラフトの指導(通年)</p> <p>子どもたちには木に触れ、木でものを創る楽しさを、大人には木工クラフト基礎や楽しさを指導</p> <p>団体 305団体 3,407人 個人 3,925人</p> <p>○ゴールデンウィークフェスタ</p> <p>期間 4月29日(水) ～5月6日(水)</p> <p>・親子工作教室</p> <p>・ウッドワーカーズクラフト</p> <p>・座っ展2015 ー丹波でうまれた木の椅子展ー</p> <p>・アトリエ作品展</p> <p>・フリーマーケット</p> <p>・竹とんぼ教室</p> <p>・ツリーイング教室 などを開催</p> <p>○平日グランドゴルフ</p> <p>営業日 119日 参加者数 1,853人</p> <p>○木を暮らしに取り入れるための普及(通年)</p> <p>・webサイトからの木材に関する情報提供</p> <p>・木材研修会、木質セミナーなど開催</p> <p>・木材業界や一般県民の木材に関する木材利用相談などに応じている。</p>	2,166,000	2,152,752	
	コ 丹波並木道中央公園の企画運営	市民・地域参加による公園の管理や利用促進のため、参加型プログラムの企画運営など、主にソフト面からの管理運営を進める。	<p>○丹波の森研究員等4人 配置</p> <p>○参加型プログラムの運営(企業参加の植樹・森林整備、赤米・黒豆の栽培、木工教室、恐竜の発掘体験など)</p> <p>○広報・PR活動、森の円卓会議の運営</p>	7,200,000	7,200,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進	ア 里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業	丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。	〔森づくり講座の開設〕 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点として研修の提供 ・日程：6～12月 4講座 計10回開催 ・受講者数：8人 〔環境学習体験フィールドの整備〕 里山に親しむ環境づくりに向けて、里山倶楽部の協力を得ながら生き物飼育場などを整備	313,000	313,000	
	イ 里山創造活動支援事業	自主活動クラブである里山倶楽部の主体的な活動の場を提供することにより、県民の里山とのふれあいの場の整備を推進する。	森づくりスタッフOBによる自主活動グループである里山倶楽部の活動を支援。 ・里山倶楽部会員数：23人	50,000	20,162	
	ウ 森づくりアドバイザーの設置	緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置する。	〔森づくり出前講座〕 自治会、施設等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援 ・派遣回数 材料関係：28回  【(3)ア 丹波の森公苑環境学習推進事業と並行して実施】	0	0	
	エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくためオオムラサキの飼育展示を行う。また、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりを進めるため、里山のシンボルである国蝶オオムラサキを継続して飼育展示。 また、小学校区を中心とした地域での飼育を推進するため、関係機関等との連携強化。 ・体験飼育展示 ・小学校等への飼育指導(20小学校、1高校、6事業所等) ・放蝶会：7月4日(土) 参加者数：120人 放蝶数：85頭 ・兵庫丹波オオムラサキの会との連携	192,000	192,000	
	オ ささやまの森公園事業	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などの実施をすることにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。	○基本プログラム ・里山体験班：布ぞうり作り、黒豆のお味噌を作ろう、草木染め等 プログラム回数：33回 参加者：368人 ・自然学習班：バードウォッチング、モリアオガエルとホタルを見つけよう、自然観察等 プログラム回数：16回 参加者：184人 ・レクリエーション班：ミニかまどを作ろう、宿泊キャンプ、深山登山等 プログラム回数：14回 参加者：262人 ・里山復元班：チェーンソー講習会、帽子掛けを作ろう等 プログラム回数：15回 参加者：161人 ○団体プログラム ・団体利用：木工クラフト、散策等 34団体、1,169人参加 ・森の学校(第8期生) 自然観察、源流探検、飯ごう炊飯等 参加者：小学3年～6年生 11人(10回/年) ・丹南校「里山文化」(第9回) 里山和菓子作り、しめ縄作り等 参加者：生徒18人、一般1人 (13回/年)	7,690,000	7,680,779	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進	ア 丹波の森公園環境学習推進事業	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>[子ども対象プログラム]</p> <p>○丹波縄文の森塾の開催            期間：5月～3月(11回/年、キャンプ2泊3日を含む)            参加塾生：小学4年～6年生            33人(篠山市及び丹波市)            参加費：6,000円            6,500円(キャンプ)            内容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ(2泊3日)、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察など</p> <p>[親子・家族対象プログラム]</p> <p>○春の里山ふれあいハイキング            開催日：5月2日(土)            参加者数：32人            参加費：300円(小学生以上)</p> <p>○国蝶オオムラサキの越冬幼虫探し            開催日：2月27日(土)            参加者数：23人</p> <p>[リーダー養成プログラム]            縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人18人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培っている。</p> <p>[学習環境学習支援プログラム]</p> <p>○里山の秋の実り体験            期間：9月24日(火)～10月27日(火)            参加者：篠山市及び丹波市内の保育園児、幼稚園児、小学生及び引率者21施設1,086人</p> <p>○出前講座の実施            ○公苑における学習支援</p>	972,000	966,920	
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	107,208,493	105,954,073 (元) 14,620,581 (千) 72,442,779 (百) 18,890,713	

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 県民交流広場等ネットワーク化支援事業	丹波地域における県民交流広場事業の取り組みやその成果を、広く住民に紹介することにより、コミュニティ再生の気運づくりと各広場間の交流や連携の促進を図る。	○情報紙「丹波の森」による情報発信 年2回発行(6月、1月) ○管内の県民交流広場の活動等を冊子(イベント情報)にまとめ、関係機関・団体等に配布するとともにホームページで発信 年4回(4月、7月、10月、1月)	35,000	35,000	
	イ スポーツ大会・文化教室の開催	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会、竹とんぼ大会を開催する。また、工作室などを利用する木工特別教室、マイ箸づくり、こどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○特別工作教室 木彫り教室、刀研ぎ塾、木工特別工作教室、木工基礎中級講座、木工クラブなど ・参加費：500円～800円(材料費別) ・延べ152回 1,546人 ○コバ柏原少年サッカー大会の開催 ・参加費：1チーム 500円 ・日時：8月15日(土)～16日(日) ・参加チーム数：県内外より12チーム ・参加者数：400人 ○つくって飛ばそう竹とんぼ大会 ・日時：8月23日(日) ・参加費：1,000円(子ども無料) ・参加者数：21人 ○グラウンドゴルフ大会(年4回) ・参加費：500円 【第1回】 ・日時：6月2日(火)参加者数：186人 【第2回】 ・日時：9月1日(火)参加者数：174人 【第3回】 ・日時：12月1日(火)参加者数：177人 【第4回】 ・日時：3月8日(火)参加者数 184人 ○親子で絵本を楽しもう ・参加費：無料 ・日時：8月2日(日)参加者数 16人 3月12日(土)参加者数 17人 ○サークル教室 ・1回使用 1,500円 ・延べ184回 2,048人	3,363,000	3,362,555	
(2) 生涯学習の場の提供	ア 放送大学センター外視聴教室の運営	放送大学の学生への学習支援のため、ビデオ・テープ等の学習教材視聴の場として丹波教室を開設運営する。併せて、一般県民への学習教材の視聴提供も行う。	放送大学生への学習支援として、教材並びに視聴覚機器を提供  【(3)ア 生活創造活動支援事業と並行して実施】	0	0	
	イ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設 ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学院)の開設	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60名 ・受講者数：233人(1年57人、2年58人、3年56人、4年62人) ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催時期：4月～3月までの19回 ・受講料：12,500円 【丹波OB大学大学院】 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・受講者数：28人(1年22人、2年6人) ・講座内容：基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期：4月～3月までの20回 ・受講料：12,500円	2,558,000	2,558,000	



項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 講座「丹波学」の開設	「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、丹波地域の多彩な資源や魅力を再発見し、主体的に地域づくりに参画しようとする意欲の高揚に結びつけるための学習の機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「戦国の世と丹波Ⅲ」 ～戦国期丹波と畿内～</li> <li>・日程：9月19日(土)～12月19日(土) 全5回</li> <li>・場所：丹波の森公苑 多目的ルーム</li> <li>・募集定員：150人</li> <li>・受講者数：169人</li> <li>・講師：福島克彦(大山崎町歴史資料館館長)ほか</li> <li>・受講料：5,000円</li> </ul>	845,000	845,000	
	オ 森のコミュニティ応援隊派遣事業	生活の創造や豊かな地域社会づくりを実現するため、県民が身近な地域を学びの場と位置づけ、地域コミュニティの再生をめざして自主的に行う学習会・ワークショップ等の講師謝金を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成内容：住民の企画する学習会・研修会などに派遣する講師への謝金を助成</li> <li>・助成講座数：5件</li> </ul>	150,000	150,000	
	カ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会</li> <li>・日程：9月25日(金)</li> <li>・場所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム等</li> <li>・参加者数：600人(丹波管内の高齢者大学受講生など)</li> <li>・内容：式典、記念講演(吉井あゆみ氏)、高齢者の主張発表、芸能発表、作品展</li> <li>○学ぶ高齢者のつどい中央大会(27年度は丹波が当番)</li> <li>・日程：11月27日(金)</li> <li>・場所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム等</li> <li>・参加者数：500人(県内の高齢者大学受講生など)</li> <li>・内容：式典、記念講演(中瀬勲氏)、高齢者の主張発表、芸能発表、作品展</li> </ul>	340,000	340,000	
(3) 暮らしの安全安心の推進	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む。)	生活創造活動や消費生活に関する相談窓口を開設するとともに、消費者被害防止のための普及啓発として職員による出前講座等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造・消費生活相談窓口の開設(日・祝日・休苑日を除く、土は事前予約制) 相談件数 358件</li> <li>・消費生活にゆーすの発行 年4回(各回約1,500部発行)</li> </ul>	210,000	210,000	
		生活創造活動グループサポート事業 丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動コーナーの提供</li> <li>・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供</li> <li>・情報誌「丹波の森」による活動情報発信</li> </ul>			
(4) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク、インターンシップ受入	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>中・高校生ふさわしい体験プログラムの開発を行う。</li> <li>【トライやる・ウィーク(中学生)】 実施時期：6月2日(火)～6日(土) 丹波の森公苑 5人、丹波年輪の里 4人 ささやまの森公園 4人</li> </ul>	10,000	10,000	
	イ 丹波の森美術学校の開設	「丹波の森構想」のめざす芸術文化の香り高い地域づくりを推進し、子どもたちの創造意欲を高めるとともに、豊かな感性を育むため、新進芸術家や大学教授等を講師に美術教室を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>【宝塚大学連携講座】</li> <li>・日程：8月1日(土)、2日(日)の各日</li> <li>・対象者：小学5・6年生、中・高生</li> <li>・募集定員：各日とも15人</li> <li>・参加者数：26人(1日14人、2日12人)</li> <li>・講師：林勇気(宝塚大学准教授)ほか</li> <li>・参加費：1,000円</li> </ul>	278,000	278,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	ウ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催	豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通して、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図り、青少年健全育成に資するため、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供する。	【レッスン】 ・日程：7月23日(木)～10月24日(土) (全15回) ・場所：丹波の森公苑 多目的ルームほか ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：30人 ・参加者数：43人 ・指導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円 【発表公演（「劇団ウエスト」の俳優との共演）】 ・日時：10月25日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・入場料：大人500円、高校生以下300円 ・入場者数：613人	1,500,000	1,500,000	
	エ 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯の開催	篠山市・丹波市の将来を担う青少年の健全育成を図るため、ソフトテニスを通じた中学生の交流の場を提供する。	・日程：5月5日(火・祝日) ・場所：丹波の森公苑テニスコート ・参加者：中学生 200人 (男子50ペア・女子50ペア) ・参加費：1ペア 500円	68,000	68,000	
	オ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りペクラブの活動支援	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	○丹波のむかしばなしを活用した交流会、研修会の実施 ・第1回役員会：5月8日(金) ・第2回役員会：9月10日(木) ・交流研修会 日時：11月5日(木) 場所：丹波市立氷上北小学校 ○紙芝居等の作成費及び修復助成 3件 41,120円	159,000	81,882	
(5) 公2共通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	69,028,000	66,190,937	

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しみ交流を深めるコンサートを開催 オープニング・サロンコンサート(2公演) ファイナルコンサート(1公演) ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施(10地区・10回) ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」(10校)、「キン・コン・カン・コンサート」(4校)の実施 等	・テーマ：ピアノがうたう ・開催期間：9月12日(土)～11月14日(土) ・総参加者数：5,477人 ○ホールコンサート ●オープニングサロンコンサート ・日程：9月12日(土) ・場所：お菓子の里丹波ミオール館(篠山市) ・参加者数：233人 ・入場料：3,000円(当日3,500円) ●ファイナル・コンサート ・日程：11月14日(土) ・場所：丹波の森公苑ホール ・参加者数：520人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円)、 中・高生1,000円(当日1,500円) ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高校4校) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校) ○協賛コンサート 1箇所	1,500,000	1,500,000	
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、演劇や音楽など質の高い公演を定期的に企画・開催し、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。	・開催日：8月9日(日)16時～ ・場所：丹波の森公苑ホール ・内容：USAGI LIVE in 丹波の森～森のコンサート～ ・参加者数：426人 ・入場料：S席4,000円、A席3,500円、B席3,000円、車いす席3,500円(全席指定) (B席のみ高校生以下1,000円)	2,256,020	2,252,859	
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマン約200人が一堂に集い、芝生広場など園内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○アートクラフトフェスティバル in たんば2015 ・日程：10月3日(土)～4日(日) ・出展者：174人 ・来園者：15,000人	400,000	400,000	
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催	丹波のイメージアップと木エクストラフトを普及させる全国公募展を開催する。	【一般の部】 ・出展 88人、94点 ・展示 9月20日(日)～10月4日(日) ・場所 年輪の里木の館ホール ・見学者 4,449人 【ジュニアの部(高校生以下)】 ・出展 17校、68点 ・展示 10月25日(日)～11月8日(日) ・見学者 961人	900,000	900,000	
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催	動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。広く美術家、美術愛好家に創作活	○新春書き初め展 ・日程：①1月27日(水)～31日(日) ②2月4日(木)～7日(日) ・場所：①丹波の森公苑多目的ルーム、創作工房、展示ギャラリー ②篠山市立四季の森生涯学習センター ・出品数：852点 ・来場者数：①905人 ②658人 ○文化賞受賞者小品展 ・日程：10月30日(金)～11月3日(火・祝) ・場所：丹波の森公苑 多目的ルーム ・来場者数：207人	120,000	120,000	

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
	エ 展示ギャラリーの開設	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	・利用件数：26回(ちぎり絵展、絵画展、写真展など)	10,000	10,000	
	オ 伝統文化活性化支援事業	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・開催日：4月19日(日)12時30分～ ・場所：丹波の森公苑ホール ・内容：第7回丹波の森童謡唱歌の祭典の中で、寺内・小和田三番叟保存会「青垣翁三番叟」が出演 ・参加者数：700人 ○子どもたちのための和楽器観賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・開催期間：12月～1月 ・場所：丹波管内の小学校10校 ・参加者数：552人	200,000	200,000	
	カ 座っ展2015-丹波でうまれた木の椅子-	木の椅子の安らぎや手づくり作品のすばらしさを感じていただき、「年輪の里」「木工の里丹波」名称の広報周知を図るため、丹波地域で創作活動をする木工家14名30脚の木の椅子の展示会を開催する。	・開催期間：4月29日(水)～5月6日(水)(年輪の里GWフェスタ) ・展示会場：年輪の里 木の館ホール ・出展者数：13名 ・木の椅子：31脚 ・見学者数：1,451人 ・アンケート実施：回答者491人	70,000	66,476	
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	26,862,000	26,822,586	

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報誌「丹波の森」の発行等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを開設・運営し、タイムリーな情報を提供する。	○情報誌「丹波の森」(年2回発行) ・6月：41,000部発行 ・1月：41,000部発行 ○メールマガジン「たんばもりびとにゅーす」 ・月2回 186人に発信 ○年報(年1回発行) ・7月発行 HP等に掲示 ○協会ニュース2015 12月発行、関係団体に配布及びHPに掲示 ○ホームページによる情報発信 ・更新：毎月3回(1日、11日、21日) ・アクセス件数：延べ335,214件	1,817,000	1,791,395 (局) 743,395 (宛) 971,000 (輪) 67,000 (さ) 10,000	
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 3月11日(金) 11名出席 ○丹波年輪の里運営協議会 3月2日(水) 11名出席 ○ささやまの森公園運営協議会 3月10日(火) 14名出席	357,000	269,593 (宛) 200,000 (輪) 37,086 (さ) 32,507	

## II 収益事業会計等

### 収 1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラブ普及のための木工クラブキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 (1) 飲み物の自販機設置 (2) 物販販売場所の提供 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラブキット、加工木材等を販売。	5,615,000	5,488,624 (苑) 1,805,000 (輪) 3,683,624	

### 他 1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるように支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：31 団体 ○日本の童謡・唱歌を広める会 ●第7回丹波の森童謡唱歌の祭典 ・日程：4月19日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・参加者数：700人 ○丹波の森食文化講座実行委員会 ・期間：5月14日(木)～11月15日(日) 全6回 ・場所：丹波の森公苑ほか ・受講者数：52人 ○丹波の森ふれあいステージ実行委員会 ・日程：6月7日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール	200,000	200,000	

## III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業実施結果	予算額	決算額	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	・ 評議員会および理事会開催 ・ 協会事務局の維持・運営	○評議員会 第6回評議員会：4月10日(金)開催 (書面同意) 全議案承認 第7回定時評議員会：6月26日(金)開催 8名出席 全議案承認 ○理事会 第13回理事会：6月12日(金)開催 理事6名・監事1名出席 全議案承認 ○監事監査：6月3日(水)実施 ○中間監事監査：11月12日(木)実施 ○協会事務局管理部門の人件費及び維持管理費	12,467,000	12,189,019 (局)12,077,019 (苑) 35,000 (輪) 62,000 (さ) 15,000	



平成27年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1)丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	312	85	27.2	25,419	3,360,840	3,850,480	87.3
練習室兼楽屋	312	191	61.2	4,489	485,200	497,500	97.5
楽屋A	312	56	17.9	706	76,680	104,380	73.5
楽屋B	312	45	14.4	243	26,580	37,150	71.5
創作工房	312	125	40.1	4,303	345,350	412,850	83.7
多目的ルーム	312	204	65.4	19,219	1,325,500	1,341,700	98.8
和室	312	124	39.7	817	93,830	114,180	82.2
会議室1	312	211	67.6	2,799	227,370	229,140	99.2
会議室2	312	147	47.1	1,127	134,030	157,250	85.2
会議室3	312	140	44.9	2,427	247,300	288,370	85.8
セミナー室	312	168	53.8	6,379	582,720	623,060	93.5
絵画アトリエ	364	364	100.0	1,820	524,800	522,400	100.5
彫刻アトリエ	364	3	0.8	6	3,910	168,100	2.3
テニスコート	304	229	75.3	10,417	2,912,130	2,366,950	123.0
グラウンド	304	189	62.2	11,586	486,940	499,100	97.6
計	4,768	2,281	47.8	91,757	10,833,180	11,212,610	96.6
前年度計	4,751	2,796	58.9	93,752			
前年度対比		81.6	81.3	97.9			

## (2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
ホール	308	56	18.2	28,800	0	0	0.0
工作室A	308	12	3.9	569	25,000	35,450	70.5
工作室B	308	146	47.4	2,838	78,400	90,100	87.0
アトリエA	308	103	33.4	2,079	4,000	126,000	3.2
研修室A	308	97	31.5	3,118	168,000	206,400	81.4
研修室B	308	40	13.0	1,095	55,800	61,000	91.5
会議室	308	102	33.1	1,082	62,600	71,400	87.7
工作共同	308	245	79.5	3,925	291,870	231,105	126.3
イベント広場	308	260	84.4	43,352	274,170	240,720	113.9
計	2,772	1,061	38.3	86,858	959,840	1,062,175	90.4
前年度計	2,763	895	32.6	80,973			
前年度対比		118.5	117.4	107.3			

## (3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	308			13,897			
プログラム				2,881			
団体利用				1,594			
その他				443			
運営協議会				14			
計				18,829			
前年度計	308			17,335			
前年度対比				108.6			



平成27年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

事業名	委託者	契約金額	収入済額 (収入予定額)	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	99,609,000	99,609,000	1,021,000	県立丹波の森公苑に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	72,662,165	72,662,165	3,695,165	県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	7,652,000	7,652,000	0	県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理	施設の維持管理に係る次の再委託は、省略した。 ・清掃委託 ・機械整備委託 ・各種設備保守管理委託 ・ホール運営業務 等		
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	7,200,000	7,200,000	0	県立丹波並木道中央公園に係る事業企画			
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進プロジェクト事業	丹波県民局	18,360,000	18,360,000	9,180,000	恐竜化石の発見地である篠山層群エリアを野外博物館と位置づけ、既存の施設や取組みを再整理しながら、地域資源の活用を図り、来訪者の増加やエリア内の保全を目指すため、平成26年度に「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム」を策定した。この実現に向けて、地域資源を活かしたモデル的な事業を実施し、丹波地域の活性化を図る。			
丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム関連事業	たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会	1,518,000	1,518,000	0				
丹波氷上回廊ホームページ更新業務	丹波市	200,000	200,000	200,000	自然環境情報発信ホームページ「氷上回廊」。土地利便から地域産業、暮らし、歴史までの情報を加え、より充実したWebサイトへと更新を図る。			
学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県生きがいき創造協会	150,000	150,000	0	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主観・発能発表や創作作品の展示を通して、日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい、交流を深め、生きがいと健やかかな社会づくりの輪を広げる。			
川代渓谷の桜てんぐす病対策検討業務	(公財)兵庫県園芸・公園協会	402,000	402,000	0	県道篠山山南線沿道は桜の名所であるが、近年「てんぐす病」が広がり、樹勢の衰えが目立つようになってきた。そのため「てんぐす病」の被害状況を把握するとともに、今後の維持管理について、地域とともにワークショップにおいて検討することとなった。主たる業務内容は、ワークショップにおけるコーディネート業務を務め、維持管理の方針を導くことである。			

(単位:円)

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額 (収入予定額)	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
「地域ラボ」整備可能性調査検討 業務	篠山市	1,231,200	1,231,200	1,231,200	篠山市の地域資源の活用や地域課題の解決につながるソーシャルビジネスを字び、実践できる仕組みを整備することにより、若者のしごと創出と移住定住を促進するとともに、地元住民の意識改善を促し、安心な暮らしを自分たちで維持することにつながる。この取り組みを推進する「地域ラボ」の設立及び運営開始にあたり、地域の意向に即し、起業者の受け入れ体制を整え、若者のまちづくり拠点化を進めることを目的に、関係各社との調整や実現可能性、表現方法について調査・検討を行う。			

208,984,365 208,984,365 15,327,365

0

